

デスクトップ&Webアプリ

アクション名		アクション内容	補足情報
マウス (Mouse)		対象のオブジェクトに対してマウス操作をする	
マウスホイール (Mouse Wheel)		マウスホイールで画面をスクロールする	
タッチ (Touch)		対象のオブジェクトを指でタッチする	タッチ/スワイプジェスチャーは、マウス/マウスホイールで
スワイプジェスチャー (Swipe Gesture)		スワイプ操作で画面をスクロールする	代用できるため、基本的には使用しない(モバイルアプリで使用)
キーショートカット (Key Shortcut)		ショートカットキーを使用する	
キー入力 (Key Sequence)		値をキーボード入力する	共通アクションのSetValueでも代用できる KeySequenceアクション → 記録したキーストロークで入力する SetValueアクション → 設定した値を一度にセットする
ブラウザを開く (Open Browser)		Webブラウザを起動する (IE/Chrome/Firefox/Edge)	Selenium WebDriverを使用することで、他のブラウザ(Safariなど)にも対応する
アプリケーションの起動 (Run Application)		デスクトップアプリケーションを起動する	exeファイル以外にもbatファイルも起動できる

各アクションの設定

Action			Button		Action Spot	
Mouse (マウス)	Up	マウスボタンを離す	None	どのボタンも選択しない	オブジェクトに対するマウス操作の位置 [単位：ピクセル] (横；縦)	
	Down	マウスボタンを押したままの状態	Left / Right	左 or 右ボタン		
	Click	マウスクリック	Middle	ホイールボタン		
	DoubleClick	ダブルクリック	XButton1/XButton2	その他のボタン		
	Move	マウスボタンを押したまま移動				
	Down → (Move) → Up の順に使用することが多い クリックを長押しする場合、または、オブジェクトを移動する場合に活用できる					
Action	Orientation		Delta			
Mouse Wheel (マウスホイール)	Vertical	上か下にスクロール	スクロールの移動距離 [単位：ピクセル] (+数値は上方向/-数値は下方向)			
	Horizontal	右か左にスクロール				
Action	Key Code					
Key Shortcut (キーショートカット)	Up	ショートカットキーを離す				
	Down	ショートカットキーを押したままの状態				
	Press	ショートカットキーを押す				
	DownとUpはセットで使用する人が多い (Press機能と同様になる) ショートカットキーを押した状態で操作をしたい場合に活用できる					
Action	Sequence					
Key Sequence (キー入力)	文字/数値を入力					
Action	Url		Browser		Maximized	
Open Browser (ブラウザを開く)	起動するWebアプリのURL		起動するブラウザを選択		True	起動時にブラウザを常に最大化する/しない
					False	
Action	File Name		Arguments		Working Directory	
Run Application (アプリの起動)	起動するデスクトップアプリのファイルパス		引数		テスト対象アプリが作業ディレクトリとして使用するパス	













モバイルアプリ

アクション名		アクション内容	補足情報
タッチ (Touch)		対象のオブジェクトを指でタッチする	
スワイプジェスチャー (Swipe Gesture)		スワイプ操作で画面をスクロールする	PCアプリのマウス/マウスホイールアクションにあたる
モバイルキー押下 (Mobile Key Press)		モバイルキー (HOMEボタン/BACKボタン等) を押す	モバイルアプリへの文字入力には、共通アクションのSetValueア
モバイルアプリの起動 (Run Mobile App)		モバイルアプリを起動する	事前にRxService(Ranorexサービスアプリ)、インストールメント済み
Androidアプリのデプロイ (Deploy Android App)		PCにあるAndroidアプリを端末にインストールする	事前にRanorexのインストールメントウィザードからデバイス上に
iOSアプリのデプロイ (Deploy iOS App)		PCにあるiOSアプリを端末にインストールする	対象のアプリケーションをインストールすることもできる
デバイスの方向の設定 (Set Device Orientation)		デバイスの方向を変える(縦/横/逆向き)	デバイスの方向によって画面表示が変わる場合に使用する

各アクションの設定

Action	Touch Type				Action Spot	
Touch (タッチ)	Touch	タッチ			オブジェクトに対するマウス操作の位置 [単位：ピクセル] (横；縦)	
	DoubleTap	ダブルタッチ				
	LongTouch	長押し				
	TouchStart	タッチしたままの状態				
	TouchEnd	画面から指を離す				
	TouchMove	タッチ後にドラック				
Action	Touch Type		Distance		Swipe Duration	
Swipe Gesture (スワイプジェスチャー)	Right(0°)/Left(180°)	右か左にスワイプ	スワイプの移動距離 [単位：ピクセル]		スワイプ時間 [単位：(ミリ)秒]	
	Up(270°)/Down(90°)	上か下にスワイプ				
	(数値)*	度数の方向にスワイプ				
Action	Key					
Mobile Key Press (モバイルキー押下)	(ENTER)	Enterキーを押す	(*_DONE)	IMEの決定ボタンを押す (ボタンアイコンが異なる)		
	(BACK)	前のページに戻る	(*_GO)			
	(DEL)	入力文字の1文字を消去	(*_NEXT)			
	(MENU)	起動しているアプリ一覧を表示	(*_PREVIOUS)			
	(HOME)	ホーム画面に戻る	(*_SEARCH)			
			(*_SEND)			
Action	Endpoint		Startup Arguments		Restart App	
Run Mobile App (モバイルアプリの起動)	使用する端末を選択		起動するアプリ名		True	既にアプリ起動していた場合に
					False	再起動する/しない
Action	Endpoint		File Name			
Deploy Android App (Androidアプリのデプロイ)	使用する端末を選択		ホストマシン上にて、テスト対象アプリ(APKファイル)が格納されているパス			
Action	Endpoint		App Archive		Apple ID	
Deploy iOS App (iOSアプリのデプロイ)	使用する端末を選択		ホストマシン上にて、テスト対象アプリ(IPAファイル)が格納されているパス		デバイスで使用されているApple ID	
Action	Orientation					
Device Orientation (デバイスの方向の設定)	Portrait	通常の向き	Landscape_Left	左に横向き		
	PortraitUpsideDown	通常の逆向き	Landscape_Right	右に横向き		

共通アクション

アクション名		アクション内容	補足情報
 バリデーション (Validation)		オブジェクトに対して検証(数列/文字列/画像比較)を行う	属性値/画像の一部についてのみ検証することもできる
 アクションの実行 (Invoke Action)		テスト実行時に、UI操作なしで(内部に)直接アクションを起こす	
 値の取得 (Get Value)		属性値を取得して変数に格納する	動的な値をGet Valueで取得し、Set Valueでその値を設定することができる
 値の設定 (Set Value)		対象のオブジェクトが持つ属性値(例:Text)などに対し、指定した値を入力する	Set Valueは、モバイルアプリの文字入力や、KeySequenceアクションの代替として使用する
 アプリケーションを閉じる (Close Application)		ブラウザー/デスクトップ/モバイルアプリケーションを閉じる	
 待機 (Wait For)		指定したオブジェクトや属性値の表示/非表示を待機する	設定した検索時間後に、タイムアウトすることができる
 ログメッセージ (Log Message)		ログメッセージをレポートに表示する	
 スクリーンショットのキャプチャ (Capture Screenshot)		画面ショットを取得し、レポートに表示する	最上位のリポジトリアイテムを使用することで画面全体を撮る
 スナップショットの作成 (Create Snapshot)		対象のオブジェクト情報(画像/RanoreXPath/階層/値 etc)をキャプチャーする	ファイル(.rxsnp)として保存し、情報共有のために使用する
 セパレーター (Separator)		アクション間に区切り線を入れる	レコーディングモジュール内を区切ることで、関連するアクション同士を視覚的にグループ化する
 ディレイ (Delay)		アクション間に待ち時間を作る	リロード時間が長い場合などに使用することが多い
 ユーザーコード (User Code)		C#/VB.NETで書いたテストナリオ/オートメーションヘルパーを追加する	オートメーションヘルパー (Ranorexが提供する処理コード)

各アクションの設定

Action			Mach Name/Screenshot Name		Match Value					
Validate (バリデーション)	Exists / NotExists	オブジェクトの存在検証	検証対象の属性を選択		期待値(属性値)を入力					
	AttributeEqual	オブジェクトの属性検証								
	NotAttributeEqual									
	AttributeRegEx	属性値を正規表現で検証								
	AttributeContains	指定した一部の文字列/数列が属性値に含まれているか否かを検証	期待画面のスクリーンショットを取得してセット							
	AttributeNotContains									
	ContainsImage	画像の一部が対象の画像に								
CompareImage	画面ショットの比較									
CompareImageアクションは、テスト実行後の結果レポートに類似度/差分画像を表示することができる										
Action			Action Name							
Invoke Action (アクションの実行)	対象のオブジェクトによってアクションの呼び出し項目(Action Name)が変化する ※選択項目のアクションは、RanorexのAPIを使用している									
	選択できるAPIの情報については、APIドキュメントを参照する 参照場所：Ranorex Studioのメニューバーから [ヘルプ]-[APIドキュメント]									
Action			Name		Variable		Capture Regex			
Get Value (値の取得)			取得したい属性を選択		属性値を変数化 (変数に取得した値が流し込まれる)		属性値の一部のみ抽出・取得したい場合に 抽出パターンとして使用する正規表現を設定			
Action			Name		Value					
Set Value (値の設定)			セットする属性を選択		セットする文字/数字を入力					
			Get Valueで取得した属性値を選択することができる							
Action			Close Method		Grace Period					
Close Application (アプリケーションを閉じる)			CloseWindow	アプリウィンドウを終了	失敗時からプロセスを強制終了させる時間 [単位：(ミリ)秒] ※KillProcessは即強制終了となるため、 CloseWindowの場合のみ適用					
			KillProcess	アプリのプロセスを強制終了						
			アプリケーションフォルダ(リポジトリ内の最上位の階層となる							
Action			Time out							
Wait For (待機)			Exists	オブジェクトの表示/非表示	対象のものが検索できなかった場合の タイムアウト時間 [単位：(ミリ)秒]					
			AttributeEqual	属性値の表示/非表示						
			NotAttributeEqual	を待機						
			AttributeRegEx	正規表現にマッチした属性値の表示を待機						
			AttributeContains	指定した一部の文字列/数列が含まれた属性値の表示/非表示						
AttributeNotContains			を待機							
Action					Message		Level			
Report (レポートに表示)			Log	ログメッセージの表示	レポートに表示したいコメントを設定		Debug	デバック	Error	エラー
			Screenshot	画面ショットの表示			Info	通常	Success	成功
			Snapshot	スナップショットの表示			Warn	警告	Failure	失敗
			ログメッセージのLevelがFailureの場合、失敗画面のスナップショットを表示する							
Action										
Separator (区切り線)			操作内容などごとに区切り線を挿入 Header Textにて、区切り線の名前を設定							
Action										
Delay (ディレイ)			次のアクションの待ち時間 [単位：(ミリ)秒]							
Action			Method					メソッドによって項目が変更		
UserCode (ユーザーコード)			コードライブラリから関数を選択 右隣のArgsボタンから、引数を設定							